

## 令和7年度 第2学年 学年経営計画

**学年経営目標** たけのこ学年 ～正しく・健気に・伸びやかな・個性あふれる学年～

何事も正しく、困難なことにも立ち向かい、チャレンジとワクワクを大切に、一人一人が輝ける学年。

**学年目標** 2年生:タケノコから脱皮し、それぞれが竹に成長していく年。背丈が伸びていく成長スピードと勢いのような一人一人の成長に驚くような勢いのある一年間にする。

- ・自ら取り組む学習習慣の確立、自らに適した勉強方法を身に付け、自ら考え答えを導ける力を定着させる。(叡智)
- ・心と体の健康を自ら管理でき、楽しさを自ら創りだすとともに発見できる生活にする。(健康)
- ・一人一人の個性や多様性を認め合い、相手も自分も大切にできる行動ができる。(共生)
- ・社会や集団の正しいルールを守り、マナーを考え、周囲の状況を感じて適切な行動が自らできる。(自治)

### 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律の確立と積極的な授業参加</li> <li>○自主的、計画的な学習の推進</li> <li>○探求学習の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム前着席と授業準備の徹底。</li> <li>・授業における聞く・理解する・伝える姿勢を身に付ける。</li> <li>・定期考査前の学習計画表の作成指導と実施チェック。</li> <li>・宿題や提出物における内容に対する指導。</li> <li>・My 学ノートにおける探求学習の推進。</li> </ul>
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら考え議論する力や、他者の考えや気持ちを受け入れる力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「石西メソッド」を参考に、道徳資料を活用して少人数での話し合いや一人ひとりの発表の時間を多く設定。</li> </ul>
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来働くために今身に付けるべき態度や考えの育成</li> <li>○自ら目標を設定し、課題を見つけ、主体的に思考、判断する能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験を通じて責任ある行動やマナーを身に付け、働くことの意義や将来へのビジョンをもてるようにする。</li> <li>・受験への具体的なビジョンをもてるように、受験や将来に関する基本的な知識を身に付け、進学に関する関心を高める。</li> </ul>
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規範意識の醸成</li> <li>○協調性、責任感の醸成</li> <li>○いじめの未然防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間厳守や余裕をもった行動の徹底(生活時間や提出物等)。</li> <li>・挨拶、服装、言葉遣い等の基本的な生活習慣やマナーの定着。</li> <li>・係、委員会、班活動を通じた多くのリーダーを育成。</li> <li>・学級活動、当番活動、班活動の活性化。</li> <li>・アンケートや個別面談の実施。</li> <li>・全職員による、生徒との活動(給食準備、清掃、行事における練習等)の充実。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年、学校行事の充実</li> <li>○生徒会活動、部活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に行う行事や取り組み、場面を増やしていき、達成感、充実感、クラスへの貢献意識を体験できるようサポートする。</li> <li>・委員会や部活動に積極的に参加させ、異学年とのコミュニケーションや協力、責任感、団結の育成。</li> </ul>
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的な情報発信</li> <li>○細やかな連絡や情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信による細やかな情報発信。</li> <li>・担任だけでなく、欠席時や気になる行動など細やかな連絡を学年体制で行う。</li> <li>・指導後の情報交換を迅速に行い、支援体制を保護者と共に考えるなど家庭との連携を大切にする</li> </ul>

